

2025年度事業報告書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

NPO法人どんまい

1 事業実施の方針、活動について

- ① 共同生活援助事業所どんまいハウスでは、入居者の方が安心して自分らしく地域で暮らせるよう、日常生活の中で様々な相談・支援を行い、主体的に生活できるようにサポートしてきました。昨年度は新たに3名の方が入居されました。長期入院の方の退院促進に繋げる所存です。

・2025年度 どんまいハウス実績 (2026年3月末 現在)
【 見学者数：4名 / 新規入居者数：3名(病院から3名) 】
【 退所者数：2名 / 入居者数：44名 】

- ② 就労継続支援B型事業所どんまいクラブでは、2026年3月末時点において、定員20名に対し登録者数33名、平均通所者数は18.2名となっています。2025年度は、関係機関と連携を図りながら一般就労に向けた支援を進める中で、2名の方が一般就労へとつながりました。作業面においては、年間工賃の大幅な増加には至らなかったものの、新たな内職作業の導入や施設外就労を継続して実施し、利用者が安心して無理なく取り組める作業環境の維持に努めてきました。また、利用者の高齢化が進む中で、それぞれの体調やペースに配慮しながら、丁寧で安定した作業の提供を心がけています。さらに、バザー等の地域交流活動にも積極的に参加し、地域とのつながりの強化にも取り組んできました。今後も、利用者の社会参加の機会を広げていけるよう、引き続き取り組んでいきます。

・2025年度 どんまいクラブ実績 (2026年3月末 現在)
【 見学者数：6名 / 新規利用者数：5名 / 退所者数：5名 / 登録者数：33名 】

- ③ 就労継続支援B型事業所ゆっくりクラブは、2026年3月末現在で、登録者数30名、2025年度平均通所者数は16.6名でした。タサポ(グループホーム等の夕食配達)事業も新たな配達先ができ、通常の弁当に加え1日200食程の弁当をみんなで協力して作っています。また、1名の方が就職され、2年連続就職実績も達成しました。しかし、利用者の高齢化や就職者により弁当作りなど作業の偏りや新規利用者の登録の少なさが課題です。在宅就労も活用しながら、生活リズムの安定や作業を通じて社会と繋がりを増やし計画的に通所に結び付くように支援しました。

・2025年度 ゆっくりクラブ実績 (2026年3月末 現在)
【 見学者数：11名 / 新規利用者数：4名 / 退所者数：2名 / 登録者数：30名 】

- ④ 就労継続支援B型事業所いんさつの咲々屋は、2026年3月末現在で定員20名に対し登録者数36名、平均通所者数は18.7名でした。印刷事業においては、研修のオンライン化の増加に伴い、冊子印刷の受注が減少したことで、年間売上は前年度を下回る結果となりました。一方では、多品種少部数の印刷や、印刷から発送までを一括して担うワンストップサービスの受注は増加傾向にあり、顧客ニーズへの柔軟な対応が信頼関係の深化につながりました。また、事業所行事については、利用者が企画段階から参画することで、それぞれの希望に沿った楽しみが提供できるよう努めました。就労支援については、一般就労に1名、A型事業所に1名が移行しました。移行後も安定した職業生活が送れるよう支援を継続しています。

・2025年度 いんさつの咲々屋実績 (2026年3月末 現在)
【 見学者数：5名 / 新規利用者数：4名 / 退所者数：5名 / 登録者数：36名 】

- ⑤ 自立生活援助事業所まいさぼは、2025 年度、地域移行支援事業を利用して精神科病院から退院された方 1 名、グループホームから単身生活を始められた方 1 名、計 2 名の支援を行ってきました。定期的な訪問相談や本人の希望で必要に応じて同行支援などを行い、地域での生活をする上で生じる様々な状況にご自身で対応できる力を身につけられるよう支援をしてきました。1 名は期間満了に伴う終了で安心して単身生活へ移行する支援ができたのではと感じます。もう 1 名の方の再入院に伴い、現在登録者数は 0 名となっております。

⑥ ・2025 年度 まいさぼ実績 (2026 年 3 月末 現在)

⑦ 【 新規登録者数：0 名 / 終了者数：2 名 / 登録者数：0 名 】

- ⑧ 指定一般・特定相談支援事業所まいんは 2026 年 3 月末現在、契約数は計画相談 143 名、地域移行相談 6 名、地域定着相談 5 名です。計画相談では、利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、援助等に努め、サービス等利用計画書の作成及び評価を行いました。地域移行については、外出や体験利用など退院に向けた活動を行い、5 名の方が退院に繋がりました。地域定着では、緊急時の体制を整え、安心して地域で生活ができる支援を行いました。

・2025 年度 まいん実績 (2026 年 3 月末 現在)

【 計画相談……新規契約者数：44 名 / 終了者数：13 名 / 登録者数：143 名 】

【 地域移行……新規契約者数：6 名 / 終了者数：5 名 / 登録者数：6 名 】

【 地域定着……新規契約者数：0 名 / 終了者数：1 名 / 登録者数：5 名 】

- ⑦ サロン事業では、一人暮らしに寂しさを感じている方や日中の活動先を探されている方に対してほっとできる居場所づくりを、また長期入院者の地域生活へのイメージづくりを目指し、さろんだぞうを実施いたしました。今年度は毎月 10 日以上サロンを開催し毎週 1 回はピアサポーターが主体となりサロンを開催することもできました。外部からの参加者も徐々に増えており、法人内に限らず多くの方の居場所になればと思います。

2 事業の実施に関する事項

(1) 事業

定款の 事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	人数
障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	共同生活援助事業所 どんまいハウス	4 月 1 日 ～3 月 31 日	松山市及び 周辺市町村	30 名	精神障がい者 47 名
	就労継続支援 B 型事業所 どんまいクラブ	4 月 1 日 ～3 月 31 日	松山市及び 周辺市町村	6 名	精神障がい者 35 名
	就労継続支援 B 型事業所 ゆっくりクラブ	4 月 1 日 ～3 月 31 日	松山市及び 周辺市町村	7 名	精神障がい者 34 名
	就労継続支援 B 型事業所 いんさつの咲々屋	4 月 1 日 ～3 月 31 日	松山市及び 周辺市町村	6 名	精神障がい者 41 名
	自立生活援助事業所 まいさぼ	4 月 1 日 ～3 月 31 日	松山市及び 周辺市町村	3 名	松山圏域にお住 いの精神障がい 者
障害者総合支援法に基づく相談支援事業	一般・特定相談支援事業所 まいん	4 月 1 日 ～3 月 31 日	松山市及び 周辺市町村	3 名	精神障がい者 150 名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	サロン事業 さろんだぞう	4 月 1 日 ～3 月 31 日	松山市及び 周辺市町村	53 名	松山圏域にお住 いの精神障がい 者

月	日	活動	参加者
4 月	23 日	職員研修（パワハラ・労基について）	本田社労士
5 月	19 日	松山市地域移行定着支援 全体会	
	21 日	松山市自殺対策関係機関連絡会	
	24 日	NPO法人どんまい社員総会	
	28 日	社員研修（法人理念）	谷本理事長
6 月	3 日	人権教育委員会総会	
	19 日	松山市地域移行定着支援 検討会	吉野
	25 日	職員研修（感染対策・防災）	竹田・富永・柳原
7 月	8 日	愛媛社会福祉協議会よりどころ	
	17 日	松山市地域移行検討会	綾戸・吉野
	29 日	精神障がい者特性研修	綾戸・濱石
	30 日	職員研修（地域移行について）	濱石
8 月	1 日	松山市人権教育推進協議会 部会	
	21 日	愛媛県地域移行検討会議	綾戸・吉野
	21 日	松山市地域援助者等交流研修	
	30 日	職員研修（医療観察法について）	松山保護観察所 垣内氏
9 月	4 日	松山市人権教育推進協議会 理事会	
	26 日	地域連携推進会議	
	27 日	NPO法人どんまい20周年記念式典	
10 月	15 日	相談支援専門員等スキルアップ研修 開催	
	24 日	松山市障がい者総合支援協議会 相談部会	
	29 日	職員研修（交通安全について）	兵頭
11 月	12 日	保護観察所 家族会	
	15 日	管理者・中堅向け生産性向上支援訓練	
	17 日	自殺対策関係機関連絡会	
	27 日	職員研修（ピアサポーターについて）	中岡・山崎実
12 月	16 日	実地指導	
	24 日	職員研修（精神保健福祉士会中四国大会伝達研修）	濱石・富永・片岡・松浦
1 月	13 日	松山市障がい者総合支援協議会 相談部会	
	29 日	職員研修（虐待防止・身体拘束等適正化研修）	大西・片岡
2 月	5 日	松山市障がい者総合支援協議会 相談部会	
	17 日	愛媛県障がい者権利擁護関係機関連携会議	
3 月	5 日	松山市障がい者総合支援協議会 相談部会	
	11 日	第81回精神保健福祉支援連絡会議	
	25 日	職員研修（個別支援計画について）	濱石

■ 法人内定期開催

- ※ 運営委員会（毎月1回 /理事長・理事・管理者）
- ※ 事業所会議（毎月1回 /管理者）
- ※ スタッフ会議（毎月1回 /職員全員）
- ※ 合同カンファレンス（毎月1回～2回）
- ※ 虐待防止チーム会（2カ月毎）
- ※ 虐待防止・身体拘束適正化検討委員会（6カ月毎）
- ※ ピアサロン（毎月1回）
- ※ さろんだぞう（月10回程度）
- ※ 感染症対策委員会（3カ月毎）
- ※ 防災・安全管理委員会（2カ月毎）

■ 定例出席会議

- ※ 地域移行検討会（相談支援専門員・担当職員1名）
- ※ ピアマネジャー会（ピアマネジャー2名）

■ ピアサポート事業/サロン事業（別紙）

■ その他

- ※ 9/27（土）ANAクラウンプラザホテルにてNPO法人どんまい20周年記念式典を開催しました。300名の方にご参加いただき、パネルディスカッションを実施。精神保健の歴史や社会的入院の現状、病院から地域へという内容について、それぞれの立場での思いや葛藤について熱い議論を交わしました。
- ※ 松山市からの委託を受け、10/15（水）相談支援専門員等スキルアップ研修を開催しました。相談支援専門員の資質向上に資する内容となるよう準備を重ね、参加者の皆様より高い好評をいただきました。
- ※ 松山市の地域サロンの参加、ピアサポート事業、人権教育推進協議会への参加、各大学、専修学校から実習生の受け入れや講師の派遣など、地域の精神保健福祉関係事業に参加協力しました。
- ※ 感染対策委員会を中心に職員、利用者それぞれに研修を行い、感染症予防と対策について学びました。有事の際に素早く対応できるように備蓄の管理を徹底し、利用者と職員の安心・安全に努めています。
- ※ 虐待を未然に防ぐために、今年度は苦情報告の検討に尽力しました。利用者、職員にアンケートを実施し、その結果を真摯に受け止め、それをもとに研修を行いました。利用者職員ともに虐待について理解を深めることで、利用者自身が声を上げやすい環境整備に努めています。
- ※ サロンでは、法人内に限らず法人外の当事者の方々にも利用いただきました。ピアサポーターが中心になって開催する日をもうけ、当事者の方にとってより身近に感じられるような居場所作り、孤独や孤立の解消に努めることが出来ました。

2025年度ピアサポート活動について

《法人ピア事業》

【活動報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
① 同行支援													0
② 対面面談	2		2										4
③ 訪問支援（家事援助含む）													0
④ 家族支援（同行、面談、訪問含む）													0
⑤ 会議の企画・運営・参加													0
⑥ 地域生活に関する啓発活動の企画・運営・実施	4	4	3	5	2	5	4	4	3	6	3	4	47
⑦ その他													0
計	6	4	5	5	2	5	4	4	3	6	3	4	51

【昨年度の取り組み】

昨年度もピアサポーターが担当してサロンの運営を行いました。担当の役割としてだけでなく、サロン自体を参加者として楽しんでもいただくこともできたのではないかと思います。その他、見学者の対応や学生への体験発表も引き続き行い、ピアサポーターからの支援を必要としている方々へ幅広く活動を行うことができました。

《松山市地域移行・地域定着支援事業》

【活動報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
① 同行支援													0
② 対面面談			1	1									2
③ 訪問支援													0
④ 家族支援													0
⑤ 会議の企画・運営・参加			6	3	2	8	1						20
⑥ 地域生活に関する啓発活動の企画・運営・参加			2		2	1	2		1		7		15
⑦ その他													0
計	0	0	9	4	4	9	3	0	1	0	7	0	37

【昨年度の取り組み】

・登録ピアサポーター 13名

昨年度は相談事業所や地域援助者、精神科病院の連絡会や交流会での体験発表のほか、各病院で実施される支援者向け研修でも体験発表を中心に行いました。今まで遠方でなかなか参加できなかった病院にもハイブリットの形でZOOMによる体験発表を行うことができ、サポーターの生の声を聞くことができ、退院後の生活をイメージすることができたとの声をいただきました。

また、昨年度より参加対象者がかわった保健所サロンにも定期的に参加させて頂くことができ、ピアサポート活動の大きな目的の一つである長期入院者の退院促進と地域移行に直結する活動を行うことができました。

2026年度事業計画書（案）

2026年4月1日から2027年3月31日まで

NPO法人どんまい

事業実施の方針

法人は、共同生活援助事業所、就労継続支援B型事業所、一般・特定相談支援事業所、自立生活援助事業所の運営を事業の柱として、精神障がい者の主体性、選択性を尊重した仲間作り、生きがい作り、障がい者の人権に配慮した街づくり、地域共生社会の実現に向け社会資源の提供をしていくことに寄与したいと考えます。

今年度は組織改編を行い、新たに副主任を配置、若手の人材育成に注力する体制を整えます。

- ① 共同生活援助事業所どんまいハウスでは、本町センター「こもれび」「わかば」「ひなた」「いずみ」「みなも」「こだち」6施設で47名の定員とし、引き続き入居者の単身生活に向けた自立のサポートをしていきます。入居されている方が主体的な生活を送れるよう、日常生活の自立支援はもちろん、行事参加等も積極的に取り入れ、社会参加の機会を作ります。また、松山市のワンステップ事業を積極的に活用し、社会的入院の方の退院促進を進めていきます。今年度はサテライトから単身生活へ移行を予定している方もおり、安心して単身生活を送れるよう支援していきます。本体住居のグループホームからサテライトへの移行も行い、自立に向けた取り組みを行いたいと考えます。10年以上入居されている方も増えつつあり、高齢な方でも安心できる相談・支援体制の確立に力を入れたいと考えます。その中でも入居者の自己決定・意思決定の場面では行き過ぎた支援にならないよう従事者皆で一緒に考えていきたいと思います。
- ② 就労継続支援B型事業所どんまいクラブでは、利用者一人ひとりのニーズに寄り添いながら、自分らしく安心して通所できる場づくりを目指します。工賃向上に向けては、既存の得意先との信頼関係を維持・強化するとともに、清掃業務をはじめとした作業全体の技術向上に力を入れていきます。作業の質の向上や効率化を図るため、利用者のみならず職員も共に学び、知識や技術の習得・向上に努めることで、より安定した作業提供と工賃向上を目指します。また、利用者が自分に合った作業に取り組めるよう、内職作業をはじめとした多様な作業機会を引き続き提供し、それぞれの特性やペースに応じたきめ細やかな支援を行っていきます。就労に向けた支援についても引き続き力を入れ、関係機関との連携を強化しながら、利用者の「働きたい」という思いに丁寧に寄り添い、将来につながる支援を行っていきます。どんまいクラブの強みである「幅広い作業の提供」と「安心できる居場所づくり」を活かし、今後も新たな利用者の受け入れに積極的に取り組みます。見学や体験の機会を定期的に設けるとともに、地域関係機関への訪問や広報活動も継続し、地域に開かれた事業所としての役割を果たしていきます。今後も職員一人ひとりが専門性の向上を図りながら、利用者とともに歩み、共に成長し続けられる事業所を目指してまいります。
- ③ 就労継続支援B型事業所ゆつくりクラブは、日中活動や生産活動、その他の活動機会を途切れることなく提供できるよう感染症や災害への対応を強化し継続したサービス提供ができる環境や取り組みを続けていきます。また、個別支援計画をもとに、その知識及び能力の向上のために必要な支援や適切な指導、訓練をおこない、就労希望者への施設外就労や1名以上の就職を目指します。高齢の利用者、ワンステップ事業の体験者など、幅広いニーズに対応できるよう、在宅就労も活用しながら、きめ細やかな支援や作業環境の整備を行います。弁当配食事業では、グループホームの夕食配食事業（タサガ事業）を継続して取り組み、クオリティーの維持、作業工程の効率化を図り、売り上げや工賃向上を目指します。居場所としての機能や就労を目指す方への支援など、様々なニーズに対応しながら事業所の強みを明確にし、一人でも多くの方が自分らしく生活できるよう今年度も事業展開していきます。
- ④ 就労継続支援B型事業所いんさつの咲々屋は、利用者一人ひとりのペースを尊重しながら、自分らしさを生かして働ける場を提供します。専門的な作業でも安心して挑戦できるよう、現在あるマニュアルをさらに深化させ、技術の継承やスキルアップを進め、日々の作業がやりがいや自信につながるよう支援します。また、得意とする商品やサービスをアピールすることで営業力を強化しながら、印刷事業を通じた地域社会への貢献を実感できるよう努め、工賃の向上を目指します。関係機関との連携を密にしながら、信頼関係に基づいた安定的な支援体制を構築するとともに、ステップアップを希望する利用者のニーズを大切に、本人が望む道に移行できるよう支援します。

- ⑤ 自立生活援助事業所まいさぼは、今年度も長期入院から単身生活をされる方、グループホームから単身生活に移行される方々が、地域で安心して暮らせるよう相談援助を充実させます。そのために、職員の知識や技術の向上を図れる仕組みづくりを行います。利用者の方がサービス終了後の生活をイメージしながら、自分の持っている力を発揮できるよう支援を行っていきます。
- ⑥ 指定一般・特定相談支援事業所まいんの今年度目標として、(1)地域移行定着の推進(2)相談支援専門員の質の向上(3)関係機関との連携強化です。今年度も個別のケースを通して、地域の課題に向き合い、誰もが住みやすい社会を目指します。
- 地域移行支援事業・地域定着支援事業においては対象者の方が安心して退院し、地域生活を行っていけるよう、丁寧なアセスメントの実施、サービスの調整や構築を行いたいと思います。
- また、計画相談では個別ニーズに対応できるよう、適切な相談、援助等に努め、サービス等利用計画の作成と評価を行います。本人の希望を実現できるよう、関係機関と協力していきます。
- ⑦ 私たちはピアサポート事業を通し、地域で安心して暮らせるようサポートします。地域移行・地域定着のみならず、当事者同士の助け合いを目指した活動の普及啓発や継続的なピアサポートの研修や交流会を行い、当事者と共に学び、スキルアップを図りながら、一人ひとりのより豊かな地域生活につなげていきます。また、他機関とも連携を図りながら、ピアサポート活動のさらなる充実に努めます。
- ⑧ サロン事業では、一人暮らしに寂しさを感じている方や日中の活動先を探されている方に対してほっとできる居場所づくりを行います。また、長期入院をされている方にとって地域生活へのイメージがもてることを目指して、さろんだぞうを実施してまいります。法人内だけでなく、法人外の方にも広く知っていただけるよう広報活動にも力を入れ、より多くの方が安心して気軽に立ち寄れる居場所をつくっていきたいと思います。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び 予定人数
障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	共同生活援助事業所 どんまいハウス	通年	松山市及び 周辺市町村	31名	精神障がい者 約47名
	就労継続支援B型事業所 どんまいクラブ	通年	松山市及び 周辺市町村	6名	精神障がい者 約35名
	就労継続支援B型事業所 ゆっくりクラブ	通年	松山市及び 周辺市町村	7名	精神障がい者 約35名
	就労継続支援B型事業所 いんさつの咲々屋	通年	松山市及び 周辺市町村	6名	精神障がい者 約40名
	自立生活援助事業所 まいさぼ	通年	松山市及び 周辺市町村	4名	松山圏域にお住いの 精神障がい者
障害者総合支援法に基づく相談支援事業	一般・特定相談支援事業所 まいん	通年	松山市及び 周辺市町村	3名	精神障がい者 約150名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	法人ピアサポート	通年	松山市及び 周辺市町村	全職員及び 全利用者	松山圏域にお住いの 精神障がい者
	サロン事業 さろんだぞう	通年	松山市及び 周辺市町村	全職員及び 全利用者	松山圏域にお住いの 精神障がい者
	松山市のピアサポート事業 への参加 協力、内外主催の研修会、他 事業所との交流会、勉強会 など	通年	松山市及び 周辺市町村	全職員及び 全利用者	全職員及び ピアサポーター